

2017年10月3日
トヨタ部品三重共販株式会社
ヤマト運輸株式会社

トヨタ部品三重共販とヤマト運輸が共同物流を開始
～三重県内の部品供給にヤマト運輸のネットワークを活用～

トヨタ部品三重共販株式会社（本社：三重県津市・代表取締役社長：平田 裕二郎、以下「三重共販」）とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区・代表取締役社長：長尾 裕、以下「ヤマト運輸」）は、本年10月3日より、三重県内の一部のルートで両社の荷物の共同物流を開始しますので、お知らせします。

記

1. 背景

トラックドライバーの人手不足は物流業界のみならず、製造業にも大きな影響を与えています。全国で自動車をご愛用いただいているお客様へより良いアフターサービスを提供し続けるためには、安定した部品供給が不可欠であり、部品を供給する共販店においても、配送網の維持は大きな課題となっています。

一方、ヤマト運輸は全国に4,000箇所の事業所を有し、全国津々浦々に張り巡らせたネットワークで、宅急便をはじめとした輸送サービスを提供しています。

このたび、三重共販とヤマト運輸は、三重県内の一部の配送ルートにおいて、ヤマト運輸が事業所間で運行するトラックの荷台スペースを活用し、両社の荷物を混載して輸送する共同物流を開始します。遠隔地への配送ルートの一部をヤマト運輸のネットワークが代替することで、三重共販が手配するトラックは、従来よりも走行距離を大幅に削減でき、業務効率を飛躍的に向上することができます。またドライバーの業務負担を軽減し、働く環境の改善にもつなげます。

2. 概要

(1) 取り組み内容

三重県内の配送の一部で、ヤマト運輸のトラックによる混載輸送を実施します。三重共販が手配するトラックの走行時間を削減するとともに、ヤマト運輸が事業所間で運行するトラックの積載率を向上します。

(2) 開始日

2017年10月3日（火）より

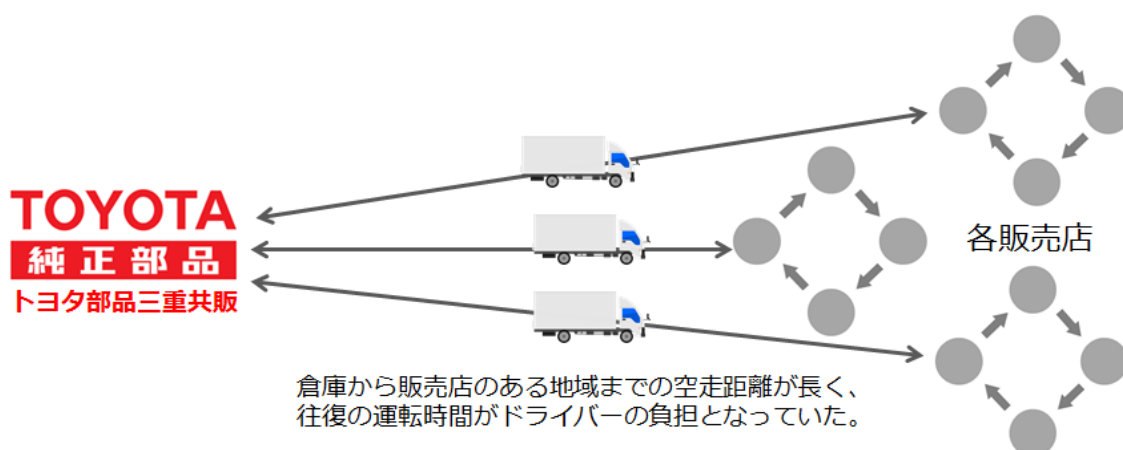
(3) 実施ルート

- ① 「津－名張・上野」ルート
- ② 「津－松阪」ルート



【運用イメージ】

■ 従来の運用



■ 新しい運用



3. 取り組みによるメリット

- ① 走行距離と時間の削減により、より多くの時間をお客様への配送に充てることできるようになり、1台あたりの業務効率高めることができます。
- ② ドライバーの業務負担を軽減し、配送に従事するドライバーの働く環境の改善につながります。

4. 今後について

今後は、三重県内他地域での展開を検討していく予定です。

以上